



黒千石事業協同組合の生産者と職員の皆さん

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

黒千石事業協同組合

【北竜町】

幻の黒千石大豆で地域を活性化

はじめは？

北海道の在来種である黒千石大豆は栽培が難しく、軍馬の飼料や緑肥作物とされ、昭和45年以降栽培が途絶えていました。納豆業界から小粒で希少な黒大豆を納豆を作りたいとの要望があり、平成17年に北竜町を中心とした道内各地の有志が黒千石大豆の栽培を復活させ、平成19年に黒千石事業協同組合を設立しました。

おもな活動

平成18年から札幌市の「北のめぐみ愛食フェア」をはじめとする道内外の各種イベントや台湾台中市で北竜町が開催した物産展等に参加する等、消費者の顔が見える対面販売と直営のネットショップにより、黒千石大豆を紹介・販売するほか、北竜町長がバスガイドを行う札幌発のバスツアーでは黒千石大豆畑での収穫体験を実施しています。

地元レストランでは黒千石大豆のオリジナルメニューが人気を博しているほか、各業界からも黒千石大豆の栄養成分の素晴らしさに注目が集まり、黒千石大豆を発芽させた納豆、北竜町産のひまわり油を使用したドレッシング、大豆ミート等多数の商品が販売されています。黒千石事業協同組合の活動は「安心、安全、自然、健康」を基本理念に北竜町のPRに繋がっています。



黒千石大豆

ここが自慢

【生産農家との強いつながりで守る黒千石大豆】

対面販売による消費者の声を商品開発のアイデアにして、消費者に美味しい黒千石大豆を提供するため、生産者から全量一括で買い取る仕組みにより、組合員を全道に広げています。添加物を一切使わない黒千石大豆の加工品は安全・安心な食材として北空知圏の学校給食に提供され、子どもたちの健康維持に貢献しています。タンパク質豊富なきな粉や大豆ミートは国内のみならず、輸出も視野に活動を進めています。



黒千石大豆商品

連絡先

代表者名：高田 幸男さん／設立：2007年／会員：44名

住所：雨竜郡北竜町字碧水31番地の1

電話番号：0164-34-2377

F A X：0164-34-2388

E-mail：info@kurosengoku.or.jp

URL：https://kurosengoku.or.jp/